

## マイナカードと電子通貨紐づけ!!

今年はプレミアム商品券でなく、電子地域通貨で30%ポイントを上乗せする仕組みに切り替えました。スマホの専用アプリかイセカカードにチャージして使うそうです。高齢者等からは「これではもう使えない」と嘆きの声があがっていました。

5月臨時会ではさらにスマホアプリとマイナンバーカードを紐づけた人に3千ポイント支給する補正予算を上程しました。個人情報流出が問題になっているマイナカード普及のため物価高騰支援策の対象をカード保有者に限定するのは、カード保有を給食費無料化の条件にして批判を浴びたどこかの市と同じではないでしょうか？

## 学校運営は子ども・保護者に寄り添って

### 校則見直しは

#### 子ども主体で

行政は子どもの権利条約を学び、あらゆる場面で子どもの最善の利益を尊重するべきです。この立場から、子ども主体の校則見直しを求めました。

市内でも、子どもと教職員が共同で校則の見直しを行う学校が出てきているそうです。

この様な動きが、どの学校にも広がることを期待したいものです。

### 制服・体育着等の

#### 業者選定は公正手法で

党市議団は恣意的な業者選定が無いよう、これまでも教育委員会が公平性・透明性の高い選定方法を各学校に示すことを求めてきました。

これを受け、この間、教育委員会は毎年度当初に学校に対して公平性・透明性の確保などを指導するようになりました。

学校では業者選定委員会を設けて、教職員・子ども・保護者

## 議会エピソード 29

臂市長が今年の3月議会に突然上程したのが「高齢者が生き生きと活躍できる社会の実現の推進に関する条例案」でした。「市は…高齢者が生き生きと活躍できる社会の実現の推進に関する基本的かつ総合的な施策を実施する責務を有する」としつつ、冒頭に出てくる「多様な就労の確保」。さらに、就労しなくてもボランティア団体やNPO、自治会や地域組織、グループで元気に活躍して欲しいという中身です。第2条を抜かし全ての条文に「高齢者が生き生きと活躍」という言葉が踊っています。

うがった見方をすれば市長お気に入りの高齢者像はお風呂に入ってカラオケをして交流するなどというサービスの受け手ではなく、仕事やボランティアで積極的に社会に貢献する能動的な高齢者ということになるのでしょうか？

前橋市は5ヶ所、高崎市は12ヶ所も入浴施設付きの高齢者がつどう場を維持しているのに、なぜ伊勢崎市の高齢者入浴施設を赤堀に続きさらに2ヶ所（ふくしプラザ・境）減らしたった2ヶ所（東・名和）だけにしたいのか？市長の好みで大切な施設をつぶされるのではたまりません。

(K)



大切だが使用頻度が少ない算数セット

の意見を集約し、品質・デザイン・購入価格をよりこんだ仕様書を作り、複数業者への見積もり依頼や入札で決定するなどの改善が図られたそうです。

### 算数セットは学校配備に

数回しか使わない算数セットなどの購入が、保護者の大きな負担になっています。

子ども1人に1台のタブレットを貸し出す時代です。義務教育無償の観点からも、学校配備やリースの活用を提案しました。共有可能な教具の学校配備や、タブレットの活用を検討することになりました。